

取組事例

(所定外労働削減・年休取得促進) (多様な正社員) 朝型の働き方・テレワーク

企業名：株式会社島根銀行	所在地：島根県松江市
社員数：427名	業種：金融業、保険業



取組の目的：

役職員全員が一体となり、ワーク・ライフ・バランスや自己啓発のための時間創出に向けて、いきいきと働きやすい職場環境の整備を図る。

取組の概要：

〈現在の取組〉

○「定時退行推進宣言」の策定

“経営責任者の本気度・やる気に尽きる”との考えのもと、定時退行に向けた社内ルールを策定。

○17時以降の電話自粛

職員の手が取られて時間のロスに繋がること、また急な作業依頼を禁止する等の趣旨から、17時以降の本部及び店舗間の電話を自粛する。なお、17時以降に連絡する際は、原則としてメールで行う。

○退行時間の徹底管理

退行時間が18時を過ぎた店舗・部署について、その理由を本部へ報告。また、毎月、平均退行時間の状況を経営会議等に報告。

○組織的な労働時間管理

労働時間管理に関する社内ルールの遵守状況等について、監査部署及び所管部署にてチェックを実施。

○年次有給休暇の独自積立て

時効により消滅する年休を保存有給休暇として、60日を限度として積立保存できる「保存有給休暇制度」を策定。

○リフレッシュ休暇制度

勤続年数に応じて、節目の年に3日～7日の有給休暇を付与。

○多様な正社員制度

すべて総合職として採用するが、その後、ライフスタイルや業務経験に合わせてコース選択できる「進路選択制度」を運用・実践。

〈今後の取組〉

○所定外労働の更なる削減

各種休暇制度の取得促進や「定時退行推進宣言」等の着実な実施を通じて、所定外労働の更なる削減に向けた取組を行う。

現状とこれまでの取組の効果：

○早期退行の実現

平成 24 年度で月 13 時間前後だった平均残業時間が、平成 26 年度は 6 時間台へと着実に減少してきている。

(H27. 10)